



● 都市モノレール建設事務所の仕事紹介

- ・ 沖縄県での取組事例
- ・ 仕事の将来性など

仕事の紹介

沖縄県土木建築部 都市計画課
沖縄都市モノレール室

沖縄都市モノレール(ゆいレール)は、那覇空港から首里駅までの区間を約27分で結ぶ、定時・定速で運行できる乗り物として、皆さんにご利用いただいています。

沖縄県都市計画・モノレール課 都市モノレール室では主に、営業区間の維持管理に関する仕事、モノレールの利用促進に関する仕事、首里駅からてだこ浦西駅までの延長区間の整備に関する仕事を行っています。

利用推進に関する仕事は、利用客を増やすための取り組みを考え実施する仕事で、那覇市・浦添市・沖縄都市モノレール(株)と連携し、様々な人とコミュニケーションを取りながら進めています。

延長整備に関する仕事は、モノレールが走行するための道路拡幅工事、インフラ工事(支柱・桁・駅舎骨格等)、インフラ外工事(車両、変電所、電車線路、信号通信、駅舎設備等)といった様々な工事を完成し、多くの皆さんにご利用いただくことを目的としています。

都市モノレール室では、延長整備に必要な予算や進捗状況のチェックをする仕事を行っており、延長整備に係る工事発注・監督は、都市モノレール建設事務所で実施し、設計コンサルタントや工事業者、関係機関と調整を行いながら工事を進めています。



★てだこ浦西駅建設イメージ



★支柱建設が進む延長区間(那覇市道石嶺線)

沖縄県での取り組み事例

	既存区間 (那覇空港駅～首里駅)	延長区間 (首里駅～てだこ浦西駅)
事業費	1,100億円	480億円
延長	13.1km(建設) 12.9km(営業)	4.1km
支柱	584基	178基
桁本数	1,042本	352本
駅数	15駅	4駅

将来性

県の様々な土木行政に関わる事ができる。



Message

土木構造物を作る公共工事は、設計や施工、その他様々な職種に携わる人と連携しながら進められていきます。自分の関わった仕事が、直接的に社会貢献できるやりがいのある仕事です。

将来、一緒に働けることを楽しみにしています。

笹原 謙 徳

出水高校(県外)/琉球大学卒

